

# アブストラクト作成の手引き

2XXXXXXX 名城 太郎

＊＊研究室

## 1. 用紙およびページ数

卒業研究発表会アブストラクト（学部4年生）はA4用紙1ページ、修士論文公聴会アブストラクト（大学院修士2年生）はA4用紙2ページになります。

## 2. 執筆要領

### 2.1 マージン

マージンは以下を目安として、設定してください。

- 上マージン：30mm
- 下マージン：27mm
- 左マージン：25mm
- 右マージン：25mm
- カラム間マージン：7mm

### 2.2 タイトル情報

上部に以下のタイトル情報をページ全体にわたってセンタリングして1段組で記述してください。

- タイトル
- 学籍番号と氏名
- 所属研究室

### 2.3 本文

本文は2段組で記述してください。

本文は、必要に応じて節に分けて記述してください。ただし、2レベルまでとし、1, 1.1, 1.2, … のようにナンバリングしてください。

### 2.4 図表

図および表には、図1、表1のような通し番号と、名称を記述してください。ただし、図の場合には図の下部に、表の場合には表の上部に記述してください。

### 2.5 参考文献

参考文献は、本文内で[1][2]のように引用し、本文に統いて、参照した文献のリストを掲載してください。参考文献は原則として以下のように記してください。

#### (1) 雑誌の場合

著者: 標題、雑誌名、巻、号、ページ(発行年)。

#### (2) 単行本の場合

著者: 書名、ページ数、発行所(発行年)。

## 3. テンプレートおよびスタイルファイル

Microsoft Word用のテンプレートと、 $\text{\LaTeX}$ 用のスタイルファイルを用意しております。招待を受けたGoogle Classroomからダウンロードして利用してください。

### 3.1 Word用テンプレート

マージンおよび以下のスタイルが登録してありますので、使ってください。

- アブストラクトタイトル
- アブストラクト著者
- アブストラクト所属
- アブストラクト見出し1(1, 2, 3, ...)
- アブストラクト見出し2(1.1, 1.2, ...)
- アブストラクト見出し3((1), (2), ...)
- アブストラクト本文
- アブストラクト箇条書き(これ)
- アブストラクト文献見出し(「参考文献」)
- アブストラクト文献

### 3.2 $\text{\LaTeX}$ 用のスタイルファイル

以下のように指定してください。

```
\documentclass[a4paper,9pt]{jarticle}
\usepackage{ieabst}
\usepackage{newenum}
\usepackage[dvipdfmx]{graphicx}
```

newenum.styは、Wordテンプレートのスタイル「アブストラクト見出し3((1), (2), ...)」に相当するものです。enumerate環境と同様に以下のように使用してください。

```
\begin{newenumerate}
\item {\bf アブストラクト見出し}
...
\end{newenumerate}
```

その他は通常のコマンドを使って執筆してください。そのほかの注意事項は、サンプルファイルを参照してください。

また、.latexmkファイルを同梱したので、latexmkコマンド一発でコンパイルできます。

## 4. PDFファイルについて

Word、 $\text{\LaTeX}$ とも、PDFファイルを提出してください。Wordの場合はdocxファイルを、 $\text{\LaTeX}$ の場合はコンパイルに必要なソースファイル・図のファイルをまとめて圧縮したZIPファイル(特殊なスタイルファイルを用いた場合はそれも含める)を同時に提出してください。WordファイルとPDFファイルについては圧縮する必要はありません。PDFファイルの作成時は、フォントをすべて埋め込んでください。また、アブストラクトは白黒プリントでの印刷や白黒でコピーする可能性があり、その場合でも判読可能となるような配色やカラー画像の使用を強くお勧めします。

## 5. $\text{\LaTeX}$ 用サンプル

### 5.1 数式のサンプル

数式のサンプルです。下記の式(1)のように入力します。

$$\begin{cases} \dot{\vec{x}}(t) &= \vec{A}\vec{x}(t) + \vec{B}\vec{u}(t) \\ \vec{y}(t) &= \vec{C}\vec{x}(t) \end{cases} \quad (1)$$

## 5.2 図表のサンプル

図および表には、図 1、表 1 のような通し番号と、名称を記述してください。ただし、図の場合には図の下部に、表の場合は表の上部に記述してください。

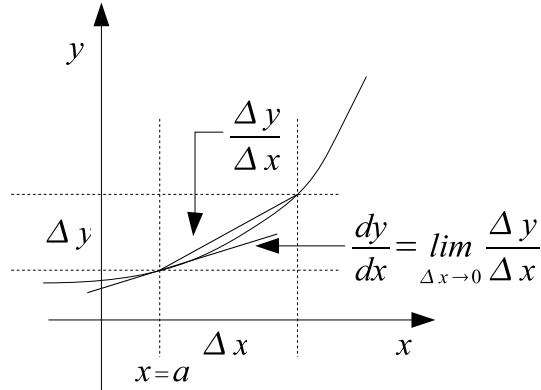


図 1: EPS 図のサンプル

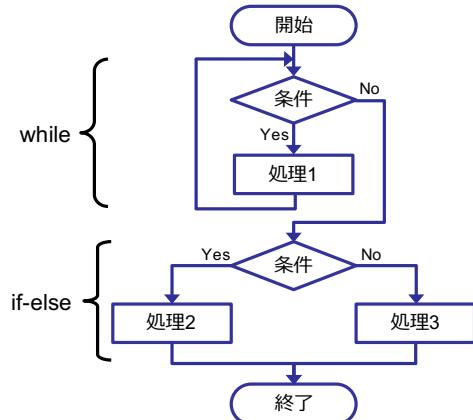


図 2: PDF 図のサンプル

表 1: 表のサンプル

$p$	$q$	$p \rightarrow q$	$(p \rightarrow q) \wedge q$
T	T	T	T
T	F	F	F
F	T	T	T
F	F	T	F

## 5.3 参考文献のサンプル

参考文献引用のサンプルです [1][2]。

### 参考文献

- [1] 名城花子, 根古次郎: 卒業論文の書き方に関する検討, 名城情報論文誌, Vol. 12, No. 1, pp. 21–28 (2025).
- [2] 中留大輔, 名城情一: 卒業研究の進め方の本, p. 301, 名城情報出版 (2009).